

本州四国連絡高速道路（株）入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	2026 年 8 月 3 日（月） 本社 11 階 会議室	
出席委員	友廣 隆宣（弁護士） 八木 知己（大学教授） 湊川 和彦（大学教授）	
審議対象期間	2025 年 10 月 1 日～2026 年 3 月 31 日	
抽出案件	抽出案件 7 件	件名
条件付一般競争	2 件	・ 2025 年度室津 P A 汚水処理設備改修工事 ・ 2026 年度坂出管理センター車両管理等業務委託
簡易公募型競争	1 件	・ 2026 年度淡路島南 P A トイレ棟他建築設計
随意契約	1 件	・ 2026 年度一般事務補助業務
少額随意契約	2 件	・ 事務用品等購入（アスクル） ・ 亜鉛合金めっきスプレー購入
グループ会社契約	1 件	・ 2026 年度車両管理等業務委託
委員からの意見・質問、それに対する応答等	意見・質問	回答
	・ 別紙のとおり	・ 別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・ 意見の具申又は勧告はなかった。	

意見・質問	回答（説明を含む）
①入札方式別発注業務について説明 ・ 特になし ②指名停止等運用状況について説明 ・ 特になし	
③条件付一般競争（2025 年度室津 P A 汚水処理設備改修工事） ・ 契約業者の技術評価点が 10 点満点中 1 点と低いが問題ないか。 ・ 落札率が 114.36%と高いのはなぜか。予定価格超過後、どのような手続きで契約に至ったのか教えてほしい。 ・ 予定価格と入札価格の乖離の主な原因は機器費と人件費という理解で良いか。	・ 総合評価落札方式における技術評価点は低いものの、業務実施に必要な要件は参加資格要件を満たしており問題はないです。 ・ 契約制限価格を超える入札額だったため、協議合意方式の規定により相手方の入札額の妥当性を確認して契約しました。 ・ 貴見のとおりです。機器費や人件費について、落札者の取引実績や過去の類似工事の実績を踏まえた説明に合理性があると判断しました。
④条件付一般競争（2026 年度坂出管理センター車両管理等業務委託） ・ 契約業者は、落札率を把握しているか。 ・ 運転手の人件費について、人事院勧告の数値を用いて積算しているという理解で良いか。	・ 入札結果は公表しているため、落札率についても理解していると考えます。 ・ 貴見のとおりです。本給については、過去からの月額単価に人事院勧告の数値を反映して積算基準を策定し、その基準をもとに予定価格を算出しています。予定価格と入札価格に差が出ていることは認識しています。
⑤簡易公募型競争（2026 年度淡路島南 P A トイレ棟他建築設計） ・ 低入札の要因は、人件費の階差なのか。	・ 直接人件費だけでなく、諸経費や技術経費も低く見積もっていました。

- ・積算段階での見積りを提出した者が入札参加者となることで、予定価格を類推されるのではないか。

- ・異常値を除いた平均値を用いる運用をしており、今回は3社の見積額が近かったため結果的に落札額に近くなりました。見積依頼先や見積採用者数は公表していないため、応札者側が予定価格を予測することは難しいと考えます。また、見積依頼先には山口県、徳島県、大阪府、兵庫県等広域の事業者が含まれていました。

⑤随意契約（2026 年度一般事務補助業務）

- ・契約更新にあたり、更新前の料金や過去契約と比較すると契約額に変化はあるか。

- ・現在の契約業者は今回が2年目の契約であり、予定価格や契約額は近年の人件費高騰の影響を受けて上昇傾向にあります。

⑥グループ会社契約（2026 年度車両管理等業務委託）

- ・④の類似業務はグループ会社契約ではない。本件と何が違うのか。

- ・グループ会社契約としているのは民営化前からの雇用対策として実施している取扱いに限っています。それ以外は、一般競争入札を採用しています。

⑦少額随意契約

- ・調査対象の抽出方法を確認したい。
- ・抽出基準を明らかにすると新たな不正が発生する可能性はないか。

- ・抽出基準にて抽出しました。
- ・抽出方法の詳細を明らかにすると不正を生むリスクが上がるため、事務局で慎重に判断しながら検査を実施していきます。

⑧子会社の外注の状況

- ・特になし